

海峡
夢
未来

まち協ニュース

中東地区まちづくり協議会

中東まちづくり協議会地域内のまつり

幽霊祭り

7月17日

観音崎町に永福寺というお寺があります。門前の海産問屋の娘が、不仲な両親を案じて若死。娘の亡霊が住職の枕元に両親を諭してほしいと現れたときに玉雲和尚が描いたものと伝わっています。

古くは、多くの参拝客と境内地内でのイベント等で広い参道もあふれんばかりの賑わいでしたが、近年改めての取り組み効果が期待されます。

永福寺山門横に、山陽道起終点一里塚があります。

現在は、山陽道一里塚は亀山八幡宮階段下に移動しています。その経緯については昨年9月、地域まちづくり部会主催の安富先生の講話でも取り上げられました。(文責 林 眞一郎)



[SNSを楽しむ]



ICT 担当 倉本喜博

※ICT(Information and Communication Technology)の略

Facebook(フェイスブック)は、「人と人のつながり」を拡げ、深めるためにつくられたインターネットのSNS(Socialソーシャル・Networking ネットワーキング・Service サービス)とよばれるサービスの一つで、多くの人々が利用するインターネット上のオンラインコミュニティです。

まずは、スマートフォンやタブレットで、無料のFacebook公式アプリをインストールして、アカウントを登録しましょう。実名で登録するので、勤務先や出身学校などが確認でき、写真で顔が見えるため安心して利用できます。最近では、シニア世代のFacebook利用が増えており、日々思うことや近況、趣味活動を文字や写真で投稿し、知り合いに知らせる自己表現の場として楽しまれています。<「大人のためのfacebookガイドブック」より抜粋>

中東地区まちづくり協議会では、Facebookページを作成しております(Facebookアプリから「中東地区まちづくり協議会」で検索)。

個人的な投稿や、まち協の行事のお知らせ、行事に参加した時の写真やその様子を投稿したり、荒天などで今いる場所の状況報告など、様々な使い方ができます。Facebookを利用して情報の提供・共有を楽しみましょう。



第10回 ドリームシップ祭り 笑顔満祭10周年

2019年 10月19日(土)・20日(日) 9:00~17:00

会場 無料

ダンス発表や作品展示等の活動発表のほか、体験教室やお茶会、バーベキュー料理等の販売、回廊館イベント等イベント盛りだくさん!!

【フリーエリア】〒750-0014 下関市唐戸町4-1-1 ◆下関市生涯学習プラザ TEL.083-231-1234 ◆下関市立中央図書館 TEL.083-231-2226

ドリームシップ祭りに参加します

10月19日(土)・20日(日)に第10回ドリームシップ祭りが下関市生涯学習プラザにて開催されます。中東地区まちづくり協議会は19日(土)にブースを設け、活動報告や広報活動を行います。また、にぎわい・おもてなしとして、有志によるフランクフルトや綿菓子の販売も行います。皆様、お誘い合わせの上是非お越しください。併せて、お手伝い頂ける方大歓迎です。お待ちしております。(おつじ)

編集後記
まち協ニュース第16号も皆様のおかげで発行できました。ありがとうございました。表紙は、亀山八幡宮竹中宮司により、1160年式年下合祭(5年に一度)のお話。4ページ目は、幽霊祭り、夫婦仲がよくなりますようにとお参りをするというので、来年は行かなくてはいけないかなあ。2-3ページは、報告とお知らせです。日程が合いましたら、ぜひ、ご参加ください。ICT担当の倉本さんには、いつも、無理を言ってますが、今後ともよろしく。SNSでは、仲の良い者同士が、言葉を交わさなくとも、「おはよう」と気軽に会話できることがすばらしいと思います。活用してみてくださいはいかがでしょうか。



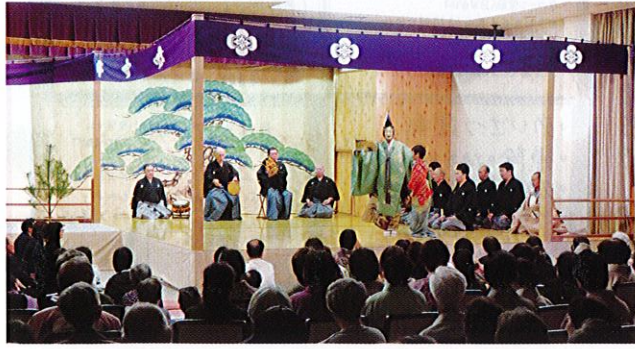
千百六十年式年夏越祭・亀山能

去る七月三十日、亀山八幡宮夏越祭本殿祭、神輿海上渡御、花火大会等が盛会に行われました。今年はそのわけ「古伝神輿渡御祭」が斎行されました。それは幕末の頃まで毎年行われていた神事「下合祭」を平成十一年に復興、五年毎に行っている祭です。夏越祭本殿祭後の午後七時、お神輿を奉安し提灯で飾られた御座船が唐戸棧橋を出港。赤間神宮前の海岸へ向かい、お神輿と宮司以下お供の者が上陸し、鎮守八幡宮のお神輿と並べて神事を斎行。両神社の宮司が同時に祝詞を読み、玉串を捧げる特殊な神事です。それに先立ち、亀山八幡宮より七度半の使(総代、岬之町自治会長安田和夫)が鎮守八幡宮へ参り、神様にお出ましを願う祭文を奏上し、鎮守八幡宮氏子会長(総代・東部第一自治連合会会長佐々木乾二)が返答申し上げる式が斎行されました。その後、正面の階段を下り海岸まで巡幸されました。関門海峡を一巡し、花火大会が始まりました。来る十月二十六日には、鎮守八幡宮のお神輿が当宮にお参りになって、亀山能を拝観される「亀山能臨御の儀」が行われます。

亀山能(下関市指定無形文化財)は、今から約四三〇年前の安土桃山時代、豊臣秀吉朝鮮出兵帰軍を迎え、神社で長府藩初代藩主毛利秀元が歓迎能を催したことに由来する、伝統と格式のある神事能です。

なお本年の亀山能は、狂言「清水」、能「忠度」が催能されます。能には重要無形文化財能楽保持者の多数の能楽師達と共に、当宮の豊亀会会員林眞一郎(観音崎町)、木村次生(貴船町)竹中信彦(当宮祢宜)、谷岡修司(上田中町)、安田和夫(岬之町)、山根巖(貴船町)の各氏が出演されます。

亀山八幡宮宮司 竹中恒彦



下合祭は、五年に一度、七月三十日、亀山八幡宮のお神輿が鎮守八幡宮へお越しになり、赤間神宮の海岸にて亀山八幡宮と鎮守八幡宮が一緒にお祭りを行います。

十月二十六日には鎮守八幡宮の大神がお神輿で亀山八幡宮の「亀山能」を拝観される「亀山能臨御の儀」が行われます。日本のお祭りの中でも珍しい祭であります。鎮守八幡宮は、東部第一自治連合会が総代としてお守りしているお宮でございます。場所は、赤間神宮の境内にあり、氏子を日夜見守っております。(文責 佐々木乾二)